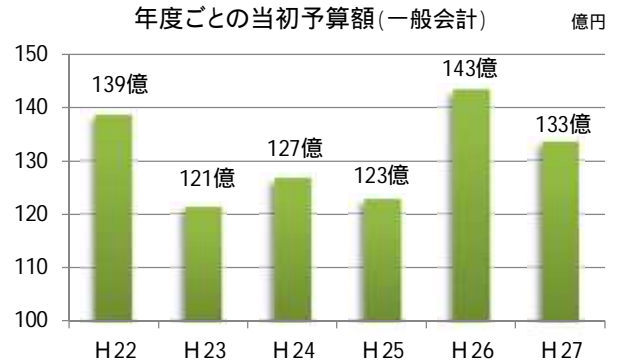


平成27年度 当初予算

一般会計予算規模
133億4,000万円

平成27年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ133億4,000万円で、前年度と比較して10億円、7.0%の減となりました。これは、金津雲雀ヶ丘寮養護老人ホーム改築事業や幼保一元化に伴う保育所改修事業、中央公民館及び湯のまち公民館の改修工事等の大型事業が完了したことや、市長の任期が満了することに伴い、新規事業については、原則計上しないこととしたためです。なお、6月議会定例会において、新規事業を盛り込んだ補正予算を提出する予定です。



各表の数値及び構成比は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

各会計の当初予算規模

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年比	
	当初予算額 A	当初予算額 B	増減額 C = A - B	増減率 (C)/(B) × 100
一般会計 (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)	133億 4,000万円	143億 4,000万円	10億	7.0%
特別会計 (保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。)				
国民健康保険特別会計	33億 7,520万円	30億 8,350万円	2億 9,170万円	9.5%
後期高齢者医療特別会計	2億 9,650万円	2億 9,220万円	430万円	1.5%
産業団地整備事業特別会計	380万円	387万円	7万円	1.7%
農業者労働災害共済特別会計	500万円	509万円	9万円	1.7%
小 計	36億 8,050万円	33億 8,466万円	2億 9,584万円	8.7%
企業会計 (一般の会社と同じように、独立の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)				
水道事業会計	10億 6,902万円	15億 6,617万円	4億 9,715万円	31.7%
工業用水道事業会計	1,130万円	1,155万円	25万円	2.2%
公共下水道事業会計	25億 2,364万円	24億 6,785万円	5,579万円	2.3%
農業集落排水事業会計	1億 763万円	1億 854万円	91万円	0.8%
小 計	37億 1,159万円	41億 5,411万円	4億 4,252万円	10.7%
芦原温泉上水道財産区水道事業会計 (旧芦原町内の特定区域(財産区)の水道事業にかかる会計)	2億 1,274万円	2億 594万円	680万円	3.3%
合 計	209億 4,483万円	220億 8,471万円	11億 3,988万円	5.2%

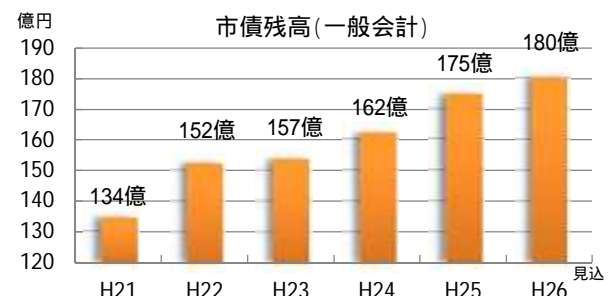
財政調整基金(市の貯金)

市の貯金である財政調整基金については、合併当初(平成15年度末)は5億4,507万円でしたが、平成26年度から合併による優遇措置が縮小され地方交付税が減額されることを踏まえて、これまで積極的な積立を行ってきました。平成26年度末では、合併当初の28億400万円となる見込みです。

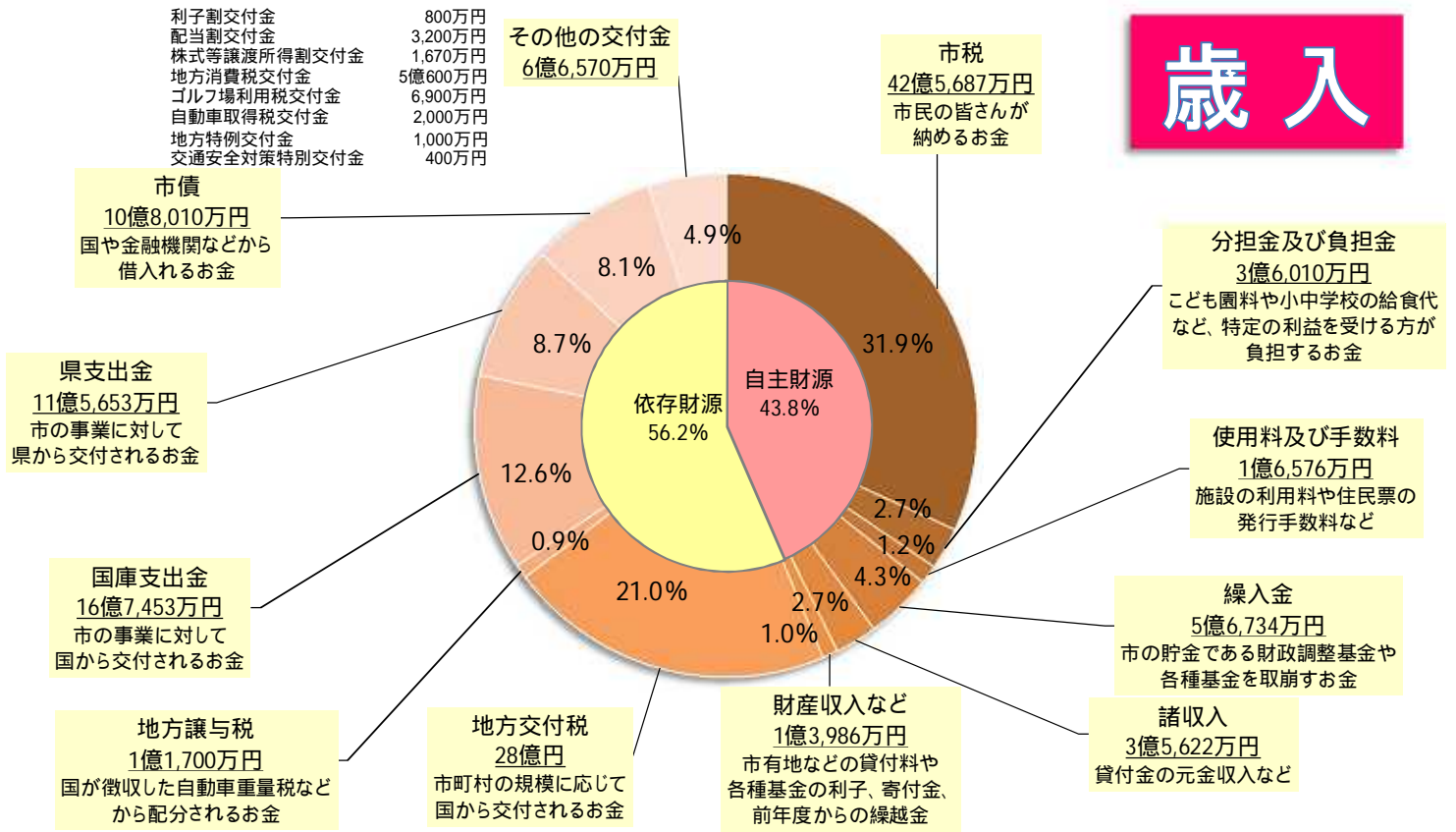


市債残高(市の借金)

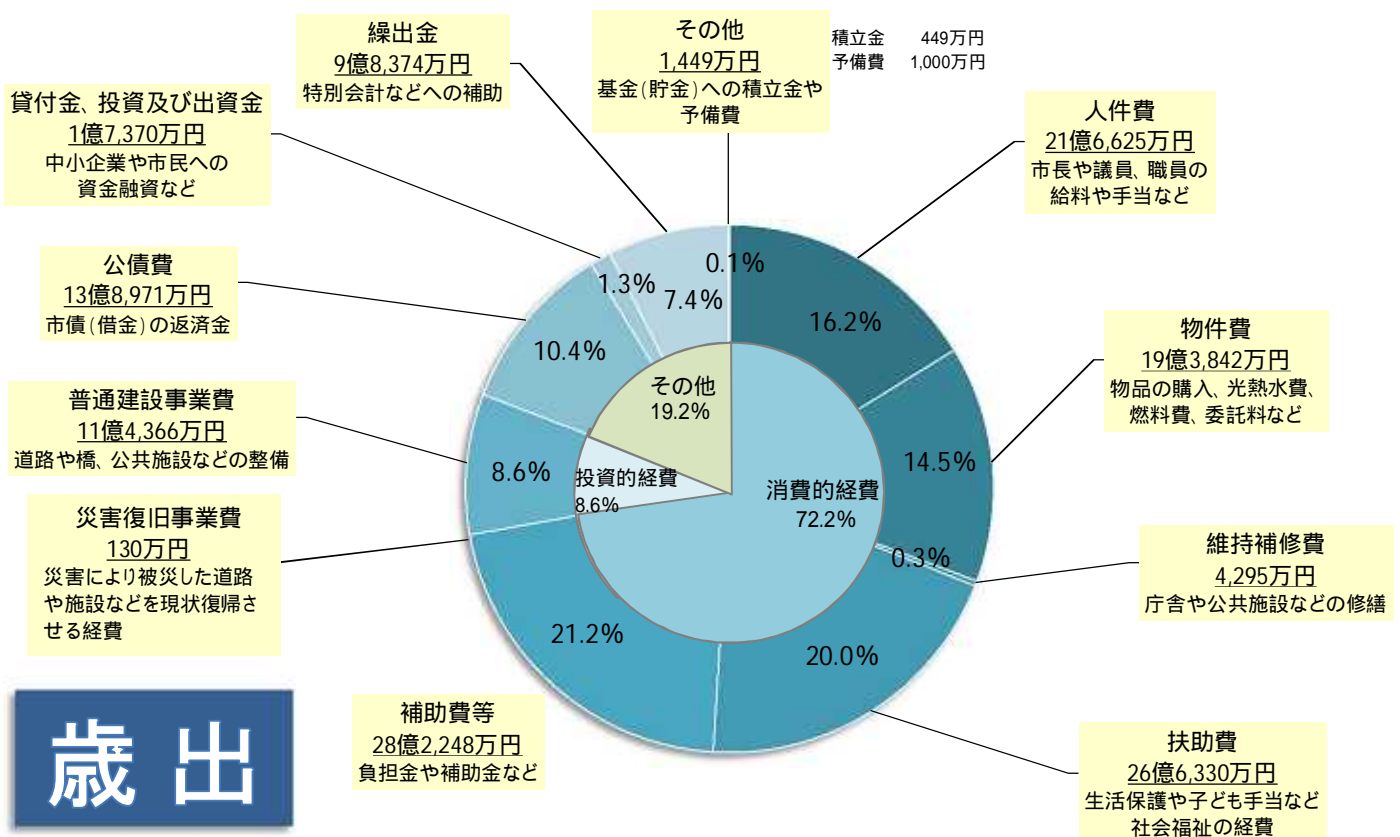
市の借金である市債については、平成25年度と比較して5億6千万円ほどの増額となります。これは、平成26年度で実施した金津雲雀ヶ丘寮養護老人ホーム改築の借入れによるものです。市債は、償還額の一部もしくは全部が地方交付税に算入される借入(合併特例債など)を積極的に活用しています。



歳入



一般会計予算規模 133億4,000万円



歳出を目的別で分類した予算額と市民一人当たりの予算額

目的名称	説明	主な事業	予算額	市民一人当たり
民生費	児童、高齢者、心身障害者などの社会福祉施設の管理運営や生活保護などにかかる経費です。	認定こども園運営事業 雲雀ヶ丘寮経費 障害者自立支援給付事業 児童手当支給事業 介護保険事業	46億 6,458万円	159,059円
土木費	道路・河川・住宅・公園などの各種公共施設の整備や、これらの施設の維持管理にかかる経費です。	公営住宅長寿命化事業 道路一般改良舗装事業 地方道路交付金事業(千束・赤尾線) 芦原温泉駅周辺整備事業 除雪対策経費	16億 9,288万円	57,726円
教育費	学校や体育施設の建設・管理、生涯学習、文化財保護などにかかる経費です。	公民館施設管理経費 給食センター事業経費 創作の森事業 放課後子どもプラン推進事業 通学援助経費	15億 3,701万円	52,411円
公債費	道路や施設を整備する際に、国や金融機関から借り入れた市債(借金)の返済金です。	借入償還元金 借入償還利子	13億 8,971万円	47,388円
総務費	庁舎などの管理、公共交通対策、市税の賦課徴収、戸籍住民基本台帳、防犯対策、選挙など市役所の全般的な仕事にかかる経費です。	電算業務・機器管理経費 公共交通対策経費 区長会経費 庁舎管理経費 デマンド交通運行事業	13億 2,169万円	45,069円
衛生費	環境対策、ごみ処理、妊婦・乳児健診、予防接種などにかかる経費です。	塵芥処理広域行政経費 ごみ処理事業 予防接種事業 保健事業 妊婦・乳児健康診査事業	8億 613万円	27,489円
農林水産業費	農林水産業の振興や農道・排水施設の整備などにかかる経費です。	多面的機能支払交付金事業 鳥獣害防止総合対策事業 環境保全型農業支援事業 土地改良等整備事業 企業の園芸確立支援事業	6億 9,845万円	23,817円
消防費	地震、火災、風水害の災害対策や消防施設にかかる経費です。	嶺北消防組合負担金 消防施設整備経費 防災経費 防災訓練事業 水防訓練事業	5億 6,575万円	19,292円
商工費	商工業の振興、観光推進、企業誘致などにかかる経費です。	温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり事業 商工振興経費 観光推進事業 ふるさと創造プロジェクト事業 セントピアあわら管理経費	3億 7,940万円	12,937円
議会費	議員の報酬や議会の運営などにかかる経費です。	議員人件費 議会運営議員調査活動事業 議会事務局経費	1億 9,472万円	6,640円
労働費	雇用対策や市民への生活資金の融資などにかかる経費です。	市シルバー人材センター運営補助金 市民生活安定資金預託金 勤労者住宅資金利子補給金	7,389万円	2,520円
その他 ・災害復旧費 ・諸支出金 ・予備費	災害により被災した道路や施設などの復旧にかかる経費、各種基金(貯金)の積立金や緊急に支出を要する場合に備える予備費です。	道路橋りょう災害復旧事業 河川災害復旧事業 農地災害復旧(単独)事業 農業用施設災害復旧(単独)事業 林業施設災害復旧(単独)事業	1,579万円	538円
合計			133億4,000万円	454,886円

平成27年3月1日現在の住民基本台帳人口(29,326人)で計算しています。

当初予算を家計簿に例えると

平成27年度の当初予算133億4,000万円をわかりやすく3,000分の1に置き換えて家計簿にしました。

1年間の収入	
基本給与 (市税)	141万 8,955円
諸手当 (分担金及び負担金)	12万 33円
副業収入 (使用料及び手数料)	5万 5,252円
預金の取り崩し (繰入金)	18万 9,115円
臨時収入など (寄付金、財産収入、諸収入、繰越金)	16万 5,359円
親などからの仕送りや援助 (交付税・国県補助金等)	213万 7,920円
銀行からの借入れ (市債)	36万 33円
合計	445万円

<p>自分で稼いだお金 (自主財源) 194万8,714円 (全体の43.7%)</p>
<p>他から調達してきたお金 (依存財源) 249万7,953円 (全体の56.3%)</p>

1年間の支出	
食費 (人件費)	72万 2,085円
医療費 (扶助費)	88万 7,765円
光熱水費・消耗品費など (物件費)	64万 6,141円
子どもへの仕送りなど (補助費等)	94万 823円
家・車などの修繕費 (維持補修費)	1万 4,317円
家などの増改築 (普通建設事業費)	38万 1,221円
借金返済 (公債費)	46万 3,237円
貯金 (積立金)	1,498円
その他緊急用 (貸付金・出資金・繰出金・予備費・災害復旧費)	38万 9,580円
合計	445万円

<p>消費的経費 (支出の効果が単年度または短期間で終わり後年度に形を残さない経費) 321万1,131円 (全体の72.2%)</p>
<p>投資的経費 (施設や道路などの建設のように形が将来に残るものにかかる経費) 38万1,221円 (全体の8.6%)</p>
<p>その他の経費 85万4,315円 (全体の19.2%)</p>

年間の収入をみると、親からの仕送りに頼っていることがわかります。また、銀行からの借入れも毎年行っています。今後は、親からの仕送りや借入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努めるとともに、なるべく支出を抑えていくことが必要と考えます。

年間の支出では、食費や医療費、借金返済など、支出が義務づけられている経費が約半分を占めています。これまでも、食費や光熱水費・消耗品費などを切り詰めて家計をやりくりしてきましたが、今後もより一層の努力が必要です。